

第4章 目標指標と目標値（科学的根拠に基づき、指標と目標値を専門家の助言を受け設定）

ベースライン値は計画策定時（令和3年）の現状値です。指標に記載がないものに関しては、令和3年実施の市民健康調査の調査値を記載しています。

1 健康寿命の延伸

	指 標	ベース ライン値	目 標 値
健康 寿命 の 延 伸	平均寿命（年） （ベースライン値：令和元年）	男性	81.95
		女性	87.45
	健康寿命（要介護度1以下を自立（健康）とした「日常生活動作が自立している期間の平均」）（年） （ベースライン値：令和元年）	男性	80.57
		女性	84.29
	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加 （ベースライン値：令和元年）	男性	増加
		女性	増加
生活 の 質	自分の健康状態に満足している人の割合を増やす	47.3%	70.0%
	毎日の生活を楽しんでいる人の割合を増やす	61.4%	80.0%

2 がん・心疾患・脳血管疾患による死亡率

（年齢調整死亡率、人口10万対）

	指 標	ベース ライン値	目 標 値
がん・ 心疾患・ 脳血管 疾患死 亡率	がん死亡率（昭和60年モデル人口） （ベースライン値：令和2年 東濃西部の公衆衛生）		112.7
	心疾患死亡率（平成27年モデル人口） （ベースライン値：令和2年 東濃西部の公衆衛生）	男性	155.8
		女性	108.9
	脳血管疾患死亡率（平成27年モデル人口） （ベースライン値：令和2年 東濃西部の公衆衛生）	男性	90.4
		女性	50.8
			減少

3 生活習慣病危険因子

	指 標	ベース ライン値	目 標 値
生活 習慣 病 危 険 因 子	20-69歳の男性の肥満者（BMI ≥ 25）の割合を減らす	30.0%	27.0%
	児童・生徒の肥満児（日比式により標準体重の20%以上）の割合を減らす （ベースライン値：令和3年度 学校保健統計）	7.4%	減少
	高血圧値の人の割合を減らす （最高血圧160以上、最低血圧100以上） （ベースライン値：令和3年度 国民健康保険特定健診受診者）	5.4%	5.0%
	血糖値の高い人の割合を増加を抑制する（HbA1c6.5%以上） （ベースライン値：令和3年度 国民健康保険特定健診受診者）	9.4%	9.4%
	LDLコレステロールの高い人の割合を減らす（160mg/dl以上） （ベースライン値：令和3年度 国民健康保険特定健診受診者）	10.9%	8.2%
	小学校5年生でLDLコレステロール120mg/dl以上の人の割合を減らす （ベースライン値：令和3年度 学校保健統計）	18.2%	減少
	中学校3年生でLDLコレステロール120mg/dl以上の人の割合を減らす （ベースライン値：令和3年度 学校保健統計）	11.0%	減少

4 優先課題（食生活・運動・喫煙対策）

（１）食生活

指 標	時期	ベース ライン値	目標値
毎日、野菜を食べる人の割合を増やす	子ども (4～17歳)	83.8%	88.0%
	青年期	75.4%	80.0%
	壮年期	76.9%	82.0%
	高齢期	69.5%	75.0%
野菜を１日２回以上食べる人を増やす	子ども (4～17歳)	53.2%	58.0%
	青年期	44.6%	48.0%
	壮年期	45.8%	50.0%
	高齢期	46.4%	53.0%
朝食を毎日とる人の割合を増やす	思春期	84.8%	90.0%
	青年期	67.1%	68.0%
主食・主菜・副菜を１日２回以上、毎日食べている人の割合を増やす	青年期	46.7%	50.0%
	壮年期	55.6%	60.0%
	高齢期	65.3%	70.0%
保護者が「うす味に心がけている」人の割合を増やす	幼児期	61.4%	66.0%
うす味が健康に良いことを知っている人の割合を増やす	学童期・思春期 (10～17歳)		50.0%
減塩のために調味料の使い方を工夫している人の割合を増やす	青年期		60.0%
	壮年期		65.0%
	高齢期		70.0%

【年代について】

幼児期：４～５歳

学童期：６～12歳

思春期：13～19歳

青年期：20～39歳

壮年期：40～64歳

高齢期：65歳以上

(2)運動

指 標	時期	ベース ライン値	目標値
平日休日ともに60分以上、遊びやスポーツでからだを動かしている子の割合を増やす	幼児期	73.8%	80.0%
	学童期	55.1%	60.0%
	思春期	54.4%	60.0%
日常生活における歩数の増加 (歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上の実施している人を増やす)	青年期	35.8%	40.0%
	壮年期	24.2%	30.0%
	高齢期	32.2%	40.0%
30分・週2日以上運動を1年以上継続している人の割合を増やす	青年期	10.4%	15.0%
	壮年期	13.5%	18.0%
	高齢期	24.7%	30.0%
週1日以上運動を3ヶ月以上継続している人の割合を増やす	青年期	23.3%	28.0%
	壮年期	30.4%	35.0%
	高齢期	42.7%	50.0%
からだを動かすことが好きな子の割合を増やす(小学五年生) (ベースライン値:令和4年 全国体力・運動能力、運動習慣等調査)	学童期	87.6%	90.0%
地域行事に参加する人を増やす	高齢期	52.3%	60.0%
子どもの健全な成長にとって、毎日60分以上の外遊びや運動・スポーツが大切であることを知っている人を増やす	子ども 保護者	68.4%	75.0%
歩くことや、運動が生活習慣病予防になることを知っている人 を増やす	大人 全年齢	86.4%	90.0%

(3) 喫煙対策

指 標	時 期		ベース ライン値	目 標 値
妊婦の喫煙率を減らす (児を妊娠していた時の喫煙率)	乳幼児期 (4か月・3歳)		0.8%	0.0%
母親の喫煙率を減らす	乳幼児期 (4か月・3歳)		2.3%	1.0%
タバコを吸ったことがある子を減らす	思春期	男子	0.5%	0.0%
		女子	0.0%	0.0%
喫煙率を減らす	青年期	男性	24.5%	19.5%
		女性	4.9%	2.2%
	壮年期	男性	28.3%	18.3%
		女性	9.6%	7.1%
禁煙希望者の割合を増やす	青年期	男性	29.2%	45.0%
		女性	14.3%	50.0%
	壮年期	男性	41.9%	52.0%
		女性	52.0%	62.0%
全年齢の喫煙率を減らす	大人全年齢	男性	25.5%	14.5%
		女性	6.9%	3.5%
タバコが体に与える害を知っている子の割合を増やす	学童期・思春期 (10～17歳)		91.4%	100.0%
家族が子どもの近くでタバコを吸う人を減らす	乳幼児期 (4か月・3歳)		5.1%	1.8%
	学童期・思春期 (10～17歳)		21.6%	12.5%
受動喫煙の機会(家庭・職場・飲食店・行政機関・医療機関)を有する者の割合を減らす	大人全年齢		24.0%	12.0%
多治見市望まないタバコの被害から市民を守る条例を知っている人を増やす	大人全年齢		30.1%	60.0%

5 優先課題以外の指標

	指 標	ベース ライン値	目 標 値
健康 管理	健診(血液検査を含む)を受ける人の割合を増やす	79.6%	85.0%
	40～74歳における胃がん検診を受ける人の割合を増やす	35.6%	60.0%
	40～74歳における大腸がん検診を受ける人の割合を増やす	33.7%	60.0%
	20～74歳における子宮がん検診を受ける人の割合を増やす	40.8%	60.0%
	40～74歳における乳がん検診を受ける人の割合を増やす	46.6%	60.0%
	たじみ健康ハッピープランを知っている人を増やす	38.3%	60.0%
休 養	自分なりのストレス解消法をもっている人を増やす	72.9%	増加
	青年期・壮年期におけるストレスを頻回に感じる人の割合を減らす	30.3%	減少
	睡眠に満足している人の割合を増やす	63.6%	増加
歯 科	3歳児におけるう歯のない子の割合を増やす (ベースライン値：令和3年度3歳6か月児歯科健診)	93.5%	95.0%
	12歳児の一人平均う歯数を減らす (ベースライン値：令和3年度学校保健統計)	0.4本	0.3本
	中学2年における歯肉に炎症所見を有するものの割合を減らす (ベースライン値：令和3年度学校保健統計)	32.0%	20.0%
	デンタルフロスや歯間ブラシを週1回以上使っている人を増やす	51.1%	70.0%
	歯科健診を受けている人を増やす	47.1%	60.0%